

教科	科目	単位数	教科書	使用教材	対象
芸術	音楽Ⅰ	2	MOUSA 1 (教育芸術社)	楽譜 CD 三味線 打楽器 ギター	全学年

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
前期中間まで	<p>歌唱 校歌 翼をください 少年時代 カロミオベン 夏の思い出</p> <p>鑑賞 和声とインヴェンションの試み 第1集「四季」(ヴィヴァルディ) 無伴奏チェロ組曲(バッハ) G線上のアリア(バッハ) ハレルヤ(ヘンデル) 教会音楽 三味線基礎練習 わらべ唄 長唄勸進帳より「寄せの合方」</p>	<p>歌唱の基礎(姿勢、呼吸、発声)をたいせつにして、曲種に応じた表現の工夫ができるようにする。世界の音楽の種類や特徴を理解し、そのよさを味わう。</p> <p>鑑賞は、バロック音楽と教会音楽の文化的・歴史的背景と特徴について理解する。鑑賞曲は演奏者についての研究することにより、より深い視点で音楽を探求する。ヴィヴァルディの春はソネットと音楽の関連性について理解する。バッハ、ヘンデルは、バロックの表現方法やよさを味わう。</p> <p>三味線解放弦「さくらさくら」「寄せの合方」</p>	<p>歌唱は発声法、歌詞の内容、表現法を理解する。</p> <p>鑑賞はワークシートから理解度、鑑賞の能力を評価する。</p> <p>基礎奏法の理解 課題の評価</p>	18
前期期末まで	<p>歌唱 In My Life 心の瞳 小さな空 浜辺の歌 Tonight 野ばら(ドイツ歌曲)</p> <p>鑑賞 クラリネット五重奏曲 交響曲第25番(モーツァルト) 交響曲第7番(ベートーベン)</p> <p>楽典 ドイツ音名、日本音名、拍子、音楽用語(音の強弱、速さ、楽語) 三味線「寄せの合方」「千本桜」</p>	<p>合唱音楽を体験し、その表現方法やよさを味わう。ミュージカルの物語と音楽との結びつきを理解し、イメージを持って表現したり鑑賞したりする。</p> <p>鑑賞は古典派音楽の文化的・歴史的背景と特徴について理解する。モーツァルト、ベートーベンの楽曲の構成、楽器、演奏者について理解し、音楽を深く味わう。</p> <p>音名を理解して読譜力をつける。拍子について理解し、簡単なリズムを作る。三味線は30周年記念式典での演奏発表を目標に練習する。</p>	<p>歌唱は表現方法の理解度から評価する。鑑賞はワークシートで評価する。</p> <p>楽典は課題で評価する。三味線は練習状況を見て評価する。</p>	18
後期中間まで	<p>歌唱 ちいさい秋みつけた 花まつり 待ちぼうけ 喜びの歌</p> <p>器楽 愛のあいさつ</p> <p>鑑賞 ピアノ協奏曲1番(ショパン) オペラ「カルメン」(ビゼー) 子供の情景(シューマン) 交響曲第9番(ベートーベン)</p> <p>三味線 「寄せの合方」「千本桜」 長唄曲</p>	<p>ドイツ語で合唱することを目標に、日本歌曲、ドイツ歌曲を歌唱の基本をたいせつに歌う。</p> <p>愛のあいさつは、ピアノ伴奏に合わせ、リコーダーでフレーズ感を出して表現を工夫する。</p> <p>鑑賞はロマン派の歴史観を理解する。カルメンは物語の場面に合わせた音楽の表現について探求する。交響曲第9番は、テーマの人間愛の楽曲構成について理解する。</p> <p>三味線は正しい奏法で演奏をする。歌舞伎曲について理解する。</p>	<p>「喜びの歌」の実技試験をする。</p> <p>器楽は合奏で観察評価する。</p> <p>鑑賞はワークシートで評価する。</p>	18
後期末まで	<p>歌唱 ホール・ニュー・ワールド Oh Happy Day 校歌合唱 自由発表の準備、練習をする。(歌唱・器楽)</p> <p>器楽 三味線演奏会を実施する。</p> <p>鑑賞 春の祭典(ストラビンスキー) 洋楽・ジャズ 三味線 長唄曲</p>	<p>曲種に合わせた表現ができるようにする。校歌は四部合唱で美しい響きで演奏することを目標にする。</p> <p>1年間の成果を自由発表で表現するために練習方法、発表の仕方について工夫する。</p> <p>三味線で長唄曲を演奏発表する。</p> <p>小鼓・長唄との合奏で和楽器の響きを味わう。</p> <p>近・現代の歴史観、文化的背景について理解する。</p> <p>洋楽・ジャズは特に20世紀後半からの文化的音楽観を探求する。</p>	<p>合唱練習を通して観察評価する。</p> <p>自由発表の実技試験で評価。</p> <p>三味線は演奏発表で評価する。</p> <p>鑑賞はワークシートで評価。</p>	16

教科	科目	単位数	教科書	使用教材	対象
芸術	美術 I	2	高校生の美術 1 (日本文教出版)	絵画用具、モチーフ、参考作品、 映像機器	全学年

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
前期中間まで	1、紙を使った周刳表現  2、絵画の表現・鑑賞 (1)《ゴッホの椅子》の鑑賞  (2) アクリル絵具による絵画表現	オノマトペや気持ちを表す言葉などから主題を生成し、意図に応じて紙の性質や用具を生かし、紙の質感や形の特性を考えながら創造的な表現の構想を練ることができる。  よさや美しさ、作者の心情や表現の工夫などをゴッホの作品から感じ取り、自ら分析するなどして作品に対する自分の考えをもち、理解を深めることができる。  思い入れのあるものを観察し、感じ取ったことや自己の考えなどから主題を生成し、意図に応じてアクリル絵具の性質を生かし、創造的な表現の構想を練ることができる。	評価の観点： 発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力、関心・意欲・態度を総合的に評価  評価方法： 観察・作品・プリント	18
前期期末まで	3、デザインの表現・鑑賞 (1) アール・ヌーボー ポスターデザインの鑑賞  (2) 本の表紙のデザイン	アール・ヌーボーのポスターの鑑賞を通して、よさや美しさなどを感じ取り、デザインの効果や目的について自ら分析するなどして理解を深めることができる。  自分の好きな文庫本の内容やイメージなどから主題を生成し、意図に応じてアクリル絵具の性質を生かし、イラストレーションによる形や色彩などの造形の要素の働きを考えて創造的な表現の構想を練ることができる。	評価の観点： 発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力、関心・意欲・態度を総合的に評価  評価方法： 観察・作品・プリント	18
後期中間まで	4、映像メディア表現 フリックブックの制作	伝えたい相手を思い浮かべ主題を生成し、ストーリーを考えるなどして構想を練ることができる。 視点や動きなどの映像表現の視覚的要素を創意工夫し、メディアの特性を活かしたユニークな表現ができる。	評価の観点： 発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力、関心・意欲・態度を総合的に評価  評価方法： 観察・作品・プリント	18
後期期末まで	6、鉛筆デッサン (1) 幾何形体のデッサン (2) 静物画	鉛筆によるさまざまな表現を習得。 遠近法、透視図法を理解する。立方体、球体、円柱が描ける。光源、陰影、反射光について理解する。	評価の観点： 発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力、関心・意欲・態度を総合的に評価する。  評価方法： 観察・作品・プリント	16

教科	科目	単位数	教科書	使用教材	対象
芸術	工芸Ⅰ	2	工芸Ⅰ (日本文教出版)	紙、クラフトロイド、綿布、牛革、 ガラス	全学年

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
前期中間まで	1. ペーパークラフトBOX 2. クラフトロイドペーパーナイフ	1. 紙の特性を理解し可能性を探っていく。 基本的な構成や構造を研究、創意工夫していく。 クオリティーを高めていくことを意識する。 2. クラフトロイドの特性を理解し、素材感を体感する。 ペーパーナイフの用途を理解し、研究する。 又、機能性や使いやすさ、切れの良さと共に、 デザイン性を兼ね備えた工芸品としてのクオリティを 意識することを心がける。	授業態度。 意欲的、関心度の深さ、発想力、構想力、応用力、創造的な技能、作品の魅力性、美しさ。 完成度を全て総合的に評価	18
前期期末まで	1. クラフトロイドペーパーナイフ 2. グラスリッツェン	1. クラフトロイドの特性を理解し、素材感を体感する。 ペーパーナイフの用途を理解し、研究する。 又、機能性や使いやすさ、切れの良さと共に、 デザイン性を兼ね備えた工芸品としてのクオリティを 意識することを心がける。 2. ガラスの特性を調査研究し、制作方法や加工法を積極的に知る、味わう。	授業態度。 意欲的、関心度の深さ、発想力、構想力、応用力、創造的な技能、作品の魅力性、美しさ。 完成度を全て総合的に評価。	18
後期中間まで	1、革クラフト(牛革) IDカード入れ コースター	革の特性を理解し、制作方法や加工法の可能性を探っていく。 革を使用するにあたっての知識や技法、表現力の幅を身につける。 素材に関心を持つ心を養い、表現や発想の自由さや工夫する力をつける。	授業態度。 意欲的、関心度の深さ。発想力、構想力、応用力、創造的な技能、作品の魅力性、美しさ。 完成度を全て総合的に評価。	18
後期期末まで	1. 染色(トートバッグ) 絞り染め&型染め	綿布を染めることを通して、生活に欠かせない「布」についての知識や理解を深める。 伝統文化としての絞り染めや、型染めを体験し感性を養う。 手作りの良さ、ぬくもり、肌触りを通して工芸に親しむ。 素材に触れ感じ取り、造形を深める心を培う。	授業態度。 意欲的、関心度の深さ、発想力、構想力、応用力、創造的な技能、作品の魅力性、美しさ。 完成度を全て総合的に評価。	16

教科	科目	単位数	教科書	使用教材	対象
芸術	書道Ⅰ	2	書Ⅰ (光村図書)	書道用具一式	全学年

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
前期中間まで	1・書へのいざない 書道用具、用材を知ろう 姿勢・執筆法を身につけよう  2漢字の学習  古典を学ぶ 楷書①唐時代前半を中心に	用具・用材の性質や特徴を知り、扱い方を身につけるよう指導する。毛筆を中心に筆の持ち方による表現の違いを知り、表現したいものに合う執筆法を研究するよう指導する。  漢字の成立過程を理解し、中学校までの書写との違いを理解し、古典の臨書を中心に技術を磨くよう導く。唐の孔子廟堂碑、九成宮醴泉銘から、楷書の字形的特徴を理解し、表現へと導く。	用具用材の特徴を理解し、丁寧に扱えるかを観る。 楷書の用筆を理解し、表現でたかを観る。	18
前期期末まで	楷書②唐時代後半を中心に ③北魏の書  行書の基本  創作への試み（漢字を中心に）	雁塔聖教序、顔氏家廟碑から楷書の繊細な表現と重厚で落ち着いた表現を比較して、学ぶよう導く。 唐の四大家の書を鑑賞して、漢字の完成された美しさを知るよう導く。北魏の造像記と碑を比較しながら、力強い表現と粘り強い息の長い表現を試みる。王羲之の蘭亭序や集王聖教序から行書の流動する動きとその多様な表現を鑑賞し、実習へと誘う。	行書の筆の動きを理解し、実習でできた課題への取り組みと作品を総合して評価する。	18
後期中間まで	3篆刻を学ぶ  篆書の移り変わりを知る。  印章の歴史を知る  4漢字の創作	篆書の歴史と印章、落款、雅印の歴史の理解へと導く。  辞書を数冊使い、篆刻用の文字を探し、印をデザインする面白さを知るよう導く。  半年間の漢字の学習を踏まえ、自分の好きな言葉や詩句から自分の感動を紙面に表現するよう導く。	篆書の文字としてのデザイン性を理解したかを観る。取り組み方と作品を総合して評価する。	18
後期期末まで	5仮名の書 かな文字の成立過程を知る 仮名の用筆、運筆法を知る 古典を臨書する。 6、漢字仮名交じり文 創作を試みる。	仮名の基本用筆を理解し、実習する。 仮名の単体、連綿を練習する。 いろは歌を書く。 高野切れ第三種、第一種を中心に臨書を試みる。  今までの学習のまとめとして、自作または好みの言葉を画仙紙に書いてみる。	仮名の繊細さを知り、丁寧に書いたかを観る。 自分の表現を試みたか作品により評価する。	16